

授業力を高める入力と出力 教師の指示の意味を問う

連載⑧

大阪教育サークルはやし 荒井 賢一

四月、新年度。

学級開き、授業開きのあるこの時期に、心がけたいことがある。それは、

なぜ、それをするのか。

である。

教師は、授業の中、学級づくりの中で、子どもたちに、多くの指示を出す。

四月、新年度は、それでいい。

この時期は、子どもたちに目的を示し、方向性を与え、日常の授業や学級生活に、安定感を作り出す時期である。

何がいいか、何をすべきかを子どもたちに考えさせ、話し合わせるの、後でいい。

ただ、何もかも教師が決めてしまうと、暴君、独裁者と思われてしまいかねない。

それゆえ、前年度の各学級でのやり方やルールなどを確認し、

「とりあえずは、このルールでやっていきましょう。」

と、暫定的な決定を教師はください。

四月、新年度は、このように、教師主導

でいいのである。だからこそ、

なぜ、それをするのか。

が重要になってくる。

授業の中で、教師が出す一つ一つの指示を何のためにするのかをその教師自身が自覚している必要がある。

この自覚がない教師は、地図やコンパスをもたずに、航海するようなものだ。

その結果、遭難し、大変な結果を生み出し、後で後悔することになる。

「立って一回読んだら座ります。起立。」

国語教科書の扉の詩を読ませるときに、こんな指示を教師は出す。

なぜ、立って読ませるのか。

立つことで、背筋が伸び、口が開きやすくなり、音読の声が大きくなる。

また、立つことで、子ども一人一人の立ち振る舞いの違いが明確になる。

指示にサツと反応して立つ子もいれば、みんなが立つのに気付いてからのっ

そり立つ子もいる。教師の指示が、どう受け止められているかを立つ行為によ

って明確にできるのである。

なぜ、一回読ませるのか。

短い詩や俳句や短歌などは、教師が最初に読んではいけない。範読はNGである。

それは、教師の読みのイメージを子どもたちに伝えてしまうからだ。まずは、子ども一人一人に一回読ませて、自分なりのイメージを持たせる。

なぜ、一回読んだら座るのか。

誰が読み、誰がまだなのかを明確にするためである。早く読み終えた子は、後でだけ待たばいいかも分かる。また、座った子の中には、もう一度詩を読む子もいる。

「原田くんは、すごいよ。座ってから詩を小さい声で読んでいました。」

と取り上げほめることで、自主的に学ぶ行為が広がっていく。

授業中の教師の出力する行為すべてに、

なぜ、それをするのか、と考えてほしい。

授業プラン 「扉の詩に込められたもの」

「いのち」は、『新しい国語六』（平成27年度版、東京書籍）の扉の詩である。

音読練習の後、

「題名は何ですか。」 ・いのち。

「作者は誰ですか。」 ・小海永二。

「何連の詩ですか。」 ・八連。

ノートに書かせながら、指名し、答えさせていく。

「詩を読んで、気がついたこと・思ったことを箇条書きしましょう。」

ノートに、番号を振らせて、箇条書きさせる。数分後に、列指名、その後、挙手指名で発表させていく。

・連が多い。

・いきなり「花です」で始まるのが変。

・花や虫がいのちなのは分かるけど、からだやこころがいのちといえない。

・第七連の「見えない手を出し」の後だけ、一文字文空いている。

・「互いに支えているんです」が2回出てくるから、これが言いたい。

・第三連だけ1行。

・話者は草原に寝転がっている。

【板書】

「花です」

「一連の一行目、いきなり「花です」となっています。みなさんは、何と聞かれたら「花です」と答えますか。」

どう質問するかをノートに書かせて、発表させる。

・いろいろな色があって、咲くものは何ですか。 全員「花です」

（発表の後に、全員で「花です」と言わせていく。）

・いのちとは何ですか。 全員「花です」

・虫がみつをすうのは何ですか。

全員「花です」

・虫を支えているのは何ですか。

全員「花です」

「虫です」ならどんな質問になりますか。」

・花のみつを吸うのは何ですか。

全員「虫です」

・夏に出るといやなのは何ですか。

全員「虫です」

・小さいけれどいのちがあるのは何ですか。 全員「虫です」

「では、「からだです」なら、どんな質問になりますか。」

・生きるのに大切なのは何ですか。

全員「からだです」

・いのちがあるのはどこですか。

全員「からだです」

・花や鳥や人が持っているものは何ですか。 全員「からだです」

「一連の「からだ」は、誰のからだですか。」

・虫。 ・鳥。 ・話者。 ・人間。

理由が言える子には、発表させる。

・話者は草原に寝転がっていて、「いのちとは何か」を考えていて、花や虫が見えて、自分のからだも見えたから。

「教科書の扉にある詩には、作者や教科書を作った人からのメッセージが込められています。では、6年の「いのち」には、どんなメッセージが込められていますか。」

・地球上のすべてのいのちを大切にしてほしい。

・お互いに支え合って、いのちを大事にしていくってほしい。 など

「扉の詩のメッセージにこたえられるような一年間をおくりましょう。」